

9月21日

移動方法：バス

今日は主に7つの寺院をまわった。

1. Sambisari temple

サンビスアリ寺院は、地下に埋もれていた寺院で、1966年に発掘され長い年月をかけ修復された。ヒンドゥーの像や石碑の言語からヒンドゥー教の寺院であり、9世紀のマタラム王国時代に建てられたと考えられている。溶岩がゆっくり流れ固まったため保存状態がいい。プランバナンとは違い彫刻には物語ではなく、植物の模様が刻まれている。



2. Kedulan temple

ケドゥラン寺院は、ケドゥラン村に位置し、主にヒンドゥー教の寺院として知られている。1993年に砂の採掘場だった場所から発見され、2002年に発掘調査が開始され2003年に2つの石碑が見つかった。そして2019年にもう一つの石碑が見つかった。9世紀に建てられ、シヴァ神に捧げられたと考えられている。



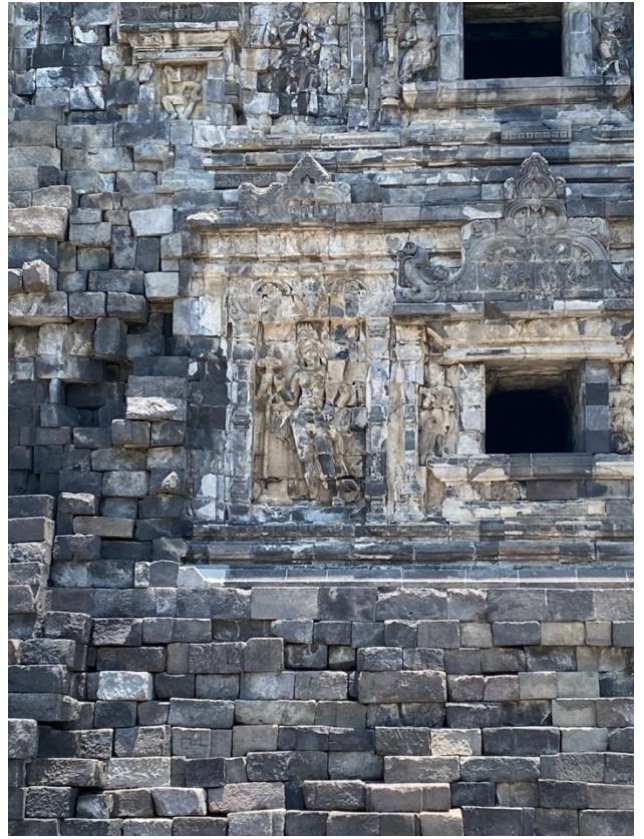
1のサンビサリ寺院と2のケドゥラン寺院と7のイジョ寺院の共通点として9世紀に建てられたヒンドゥー寺院であること。そして、シバを祀る建物を中心に前に3つの建物がある。また、シバを祀る建物の周りに、南はアガ스티ア、東はガネーシャ、北はドゥルガが彫刻されている。



3. Sari temple

サリ寺院は、仏教の建物である。初めは近くの寺院から修道院が近くにあるという内容が書かれた石碑が発見されたため修道院だと思われていた。しかし、寺院にみられる特徴もあるためどちらなのかははっきりわかっていない。壁に白い塗装をしていた後があり、ガイドの方は月の光を写すためだと説明してくださったがその説は明らかなではない。





4. Kalasan temple

カラサン寺院は 1926 年から修復が始まり現在も修復中で今日は日曜日のため働いてる人はいなかった。仏教寺院のためサンスクリットの碑文も残されている。中には 6 メートルくらいあるタラという女神が祀られている。周りにはたくさんの小堂やストゥーパであろうものがあつた痕跡があるが石が 75% 以上ないため修復が難しい。



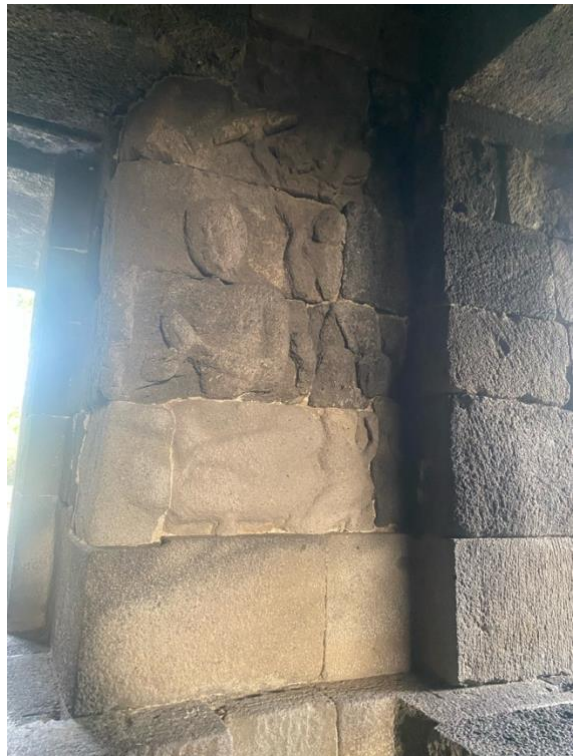
5. Sojiwan temple

ソジワン寺院は、2006 年に修復が始まり 2011 年に完成した。王族の教育に使われたレリーフが残っていて、いろいろな物語を表現している。また、バティックの柄にも使われている彫刻があり産業にも関係するため地域の人にとっても大切だ。



6. Banyunibo temple

バニュニボ寺院は中央の仏塔と現在は西と南側に合計 6 個のまだ修復されていない小塔からできている。中央の建物の中には他の寺院の違って中の壁に彫刻が彫られていた痕跡があった。またこの寺院の周りで今日はイスラム教の結婚式を見ることができた。ヒンドゥーの文化の飾りもあり色々な文化が融合しており面白いと感じた。





7. Ijo temple

イジョ寺院は、とても高い場所にあり、曇っていてもとても綺麗な景色を見ることができた。山の上にあるため段差があるのが他の寺院と違って面白いと感じた。修復中の建物が多数あった。また修復したがレリーフがわからないため無地の壁のままの場所もあった。ここの寺院は他のとは材質が違く、鉄が多く含まれてる石が使用されていた。また、この寺院はパロン寺院と共通点も多

い。この日は日中はとても暑かったが夜が近づくにつれて気温が下がったため、イジョ寺院は山のうえなのも相まって少し肌寒かった。



今日のご飯：OMAH EYANG でインドネシアの料理を食べた。わたしの食べた春雨は日本人の好きそうな味で美味しかった。



夜はホテルに一度戻り一部の人は休憩をして、一部の人はご飯を食べに出かけた。

